

## 令和4年度事業報告

令和4年度の旅行業界は、新型コロナウイルスの影響により、前半は冷え込んでいたが、後半感染者の減少や全国旅行支援割引の利用などで、教育旅行や個人旅行が回復を見せ始めた。

本県においても、全国旅行支援旅行割引の効果により観光業にとって大きな支援となった。しかしOTA旅行者や直接予約が主流となり、当協会会員へ恩恵を受けるまでには至らなかった。

本会においては、一般社団法人に移行して10年目を終了し、県民活動支援広聴課（旧学事法制課）指導の下、県観光魅力創出課（旧観光物産課）や関係行政団体などと連携をとり、公益目的支出計画に沿った事業を着実にやってきた。

本会の令和4年度中の会員の動きについては、新入会員1社、退会会員7社、法人から個人登録への移行3社となり、法人を中心に新型コロナウイルスの影響が出始めた。

理事会・各委員会においては、少しでも会員皆様のために役立つことを中心に、着実に事業を実施してきた。

事業計画に基づき、協会活動を行ってきた主な活動概要は以下の通りである。

### 【理事会 総務財務公益法人委員会】

6月9日	第一回	理事会	主な議題	定時総会	公益目的支出計画	役員管理委員会
6月30日	第二回	理事会	主な議題	定時総会運営		
8月9日	第三回	理事会	主な議題	委員会報告	予算遂行	
12月12日	第四回	理事会	主な議題	新入会員審査	委員会提案、報告	
3月27日	第五回	理事会	主な議題	決算速報	事業報告	
4月11日	第一回	総務財務公益法人委員会	主な議題	予算決算	事業報告	
5月11日	第二回	総務財務公益法人委員会	主な議題	予算決算	事業報告	
12月2日	第三回	総務財務公益法人委員会	主な議題	理事会運営		
3月27日	第四回	総務財務公益法人委員会	主な議題	予算決算	事業報告	
7月19日	第一回	代表理事会	主な議題	研修会	理事会運営	
9月13日	第二回	代表理事会	主な議題	バス運賃	災害見舞金	
11月14日	第三回	代表理事会	主な議題	公明党意見交換会	理事会運営	
1月30日	第四回	代表理事会	主な議題	決算予想	会員のうごき	

## 【苦情弁済事業】

今年度の弁済事業としては、消費者からの認証の申出はなく、事務局として全旅協本部からの規定の変更などの報告を委員へ行った。また廃業した会員に対する認証の申出の有無の報告などを日常業務として行った。

電話による苦情が数件あった。主な内容は、コロナの影響による催行確定後の取消や取消料などであった。当該会員へ適切な指導を行った。

JATA群馬地区会との共催で苦情対応セミナーを前橋市で開催した。JATA参加者9名、群旅協参加者15名、合計24名の参加があった。質疑応答も活発に行われ盛況のうちに終了した。群旅協かわら版だけでなく、本部会報誌にも実施が掲載された。

## 【業務指導事業】

群馬県戦略セールス局（旧観光局）による立入検査が、約30会員の事業所で実施された。会員より事前の相談を受けたり、検査後改善の必要があった場合には、指導を行った。りした。

登録更新の際、国内旅行業務取扱管理者定期研修の修了証が必要となるが、研修開催の周知を行ったり、未受講の会員へ受講を促したりした。

登録更新に際し、会員へ適切な助言を行った。特に法人登録の更新は書類審査が厳しく、容易ではないことから、該当会員へ1年前から更新の時期を通知し、更新に備えるよう注意を促した。

外務員証、管理者証、旅程管理者証の発行や管理、登録票や旅行業約款の掲示など、事務局を通して会員へ積極的に作成を働きかけた。新規登録の相談などの一般消費者からの問い合わせに対しても、事務局を通し、適切な対応を行った。

会員の募集広告等の作成に際し、旅行業法及び関連法規等に基づき適正な表示の助言を行った。特にホームページやSNS等への掲載については閲覧者も多く、一般消費者からの指摘も細かく慎重に行った。

令和5年10月から実施されるインボイス制度についての勉強会を、令和5年2月前橋市で実施し43名が参加した。

## 【調査・広報・事故対策事業】

1月12日 第一回 調査広報・安全対策・業務指導合同委員会 主な議題 研修会  
2月16日 第二回 調査広報・安全対策・業務指導合同委員会 主な議題 研修会総括 事業計画

調査広報安全対策・業務指導合同委員会開催 主な議題：これからの旅行業経営研修会  
・2月6日に実施した研修会の準備のための打合せおよび終了後の反省会を行った。

### 広報情報発信

国や自治体からのコロナウイルス関連の情報や助成金、融資制度等のなどの情報を以下の方法にて迅速に配信周知を行った。

- ・群旅協かわら版を毎月発刊し会員へ配布
- ・グンリョメールニュースを不定期で58回配信（内14回はFAX配信を実施）

### 調査業務

国や自治体へ速やかな情報提供を行うことと今後の有事への対策資料作成を目的に以下の調査委を行った。

- ・全国旅行支援の実態調査。
- ・異常気象被害調査。

### 全国旅行支援「愛郷ぐんま全国割」説明会を実施

令和4年10月高崎市において説明会を実施し会員40名が出席した。県ごとに制度の違いや、手続きが複雑の上、変更を重ねながらの事業に、会員から疑問が多数群旅協事務局にも寄せられており会員からの要望が強かった。質疑応答の時間を多くとり会員への疑問に答えた。後日全会員へQ&Aの形でメール配信したほか本部会報誌へも実施の寄稿を行った。

### 知らなきゃ損「これからの旅行業経営研修会」を実施

令和5年2月6日前橋市において標記研修会を実施し会員43名が出席した。安全対策委員会・業務指導委員会と共同で「バス運転者労働時間の改善」「今から知っておくべきインボイス制度」「旅行業の今と今後に関する情報交換会」の3つのテーマで開催した。

本研修スタイルは、群馬県支部としては初の試みであったが終了後のアンケートから一定の評価を得られた。アンケートの結果は会報誌で概要を報告し、ホームページの会員専用ページでアンケートの全文を公開した。

### 事故対策事業

研修旅行バス車中において、バス事故対応および危機管理の重要性のDVD研修を行い事故の初動対応について学んだ。

## 【経営推進事業】

6月17日	第一回	経営推進委員会	主な議題	勉強会計画
2月28日	第二回	経営推進委員会	主な議題	令和5年度事業計画

「デジタル化勉強会」「全旅協補償制度勉強会」「(株)全旅事業説明会」を8月に前橋市で実施、会員32名が参加した。

協定会員からの情報は、会報誌やメールニュースで会員へ配信した。

## 【研修事業】

5月25日	第一回	研修委員会	主な議題	山梨フォーラム研修
3月10日	第二回	研修委員会	主な議題	山形フォーラム研修 令和5年度事業計画

—昨年から延期になっていた『第16回国内観光活性化フォーラム in 山梨』の参加を含めた1泊2日の研修旅行を5月に実施、会員22名が参加した。山梨プレミアムツアー認定され山梨県から助成金を受領することができた。協定会施設の視察や目新しい観光地の見学・体験をすることができた。終了後のアンケート結果からも一定の評価が得られた。

3月には『第17回国内観光活性化フォーラム in 山形』の参加を含めた1泊2日の研修旅行を実施、会員20名が参加した。当日はあいにくの雪模様であったが、上山市、高畠町の着地型旅行を体験し、新しい山形の魅力を感じることができた。